

去る3月15日パルセいいざかでの県民大集会は「南津島の田植踊り」のアトラクションで始まりました。私たちの生活の上で欠かせない「食」の基本の稲作。稲を植え収穫し私たちの大切な食料の米作りも安全で豊かな土壌、平和な日々であってこそです。

東京電力福島第一原発事故で、そのかけがえのない日常が奪われてしまったのです。放射能によって奪われた、人々の生活、健康被害を二度と繰り返してはなりません。

目に見えない放射能の不安、日常口にする食料は安全なのか、子どもたちの健康被害は、等々原発事故の恐怖は、忘れることはありません。講演での中から、そして福島からの発信で話されたこと、若者からの訴えは心強いものです。

これからの社会を背負っていく若者が声を大にし、二度と繰り返してはならないこの悲劇を私たち一人ひとりも訴え続けたいと思います。

新地町 加藤